SICA 地域における生物多様性の統合的管理と保全に関する能力強化プロジェクト

2023 年 5 月

成果 2　パイロット活動　モンテクリスティ(ドミニカ共和国)　活動対象地域の特性と生態系への圧力

ドミニカ共和国におけるパイロット活動の対象は、同国北部のモンテクリスティ州に位置するペピージョサルセド市カルボネラ地区である。同市の一部はラグーナ・サラディージャ(サラディージャ湖)野生生物保護区の緩衝地域に位置し、生態系保全上も重要であるが、各方面から開発圧力に晒されている。

マンサニージョ港の遠景

北側にはマンサニージョ港が位置している。同港は 1950 年に建設され、米国や欧州の市場までの距離が短い、港の深さが約 14m(港湾の深さの参考:首都に位置するサントドミンゴ港:10m)と深く大型船でも停泊できる強みから、同国の主要港湾の一つとなっており、バナナの輸出などで利用されている。周辺では、港に付随する商工業団地の開発が進んでいくと考えられる。

Diario Libre

MURO FRONTERIZO

Talan miles de metros cuadrados de manglar para construir el muro fronterizo

Marvin del Cid
Montecristi - feb. 21, 2023 | 10:20 a. m. | 7 min de lectura

Grupos ecologistas de la provincia de Montecristi y miembros de la Coalición para la Defensa de las Áreas protegidas, expresaron a *Diario Libre* que fueron alertados por comunitarios cercanos a la Laguna Saladilla, sobre una tala de manglar y bosque seco para la construcción del muro fronterizo y que impacta directamente a la laguna, declarada en 1983 área protegida como Refugio de Vida Silvestre.

INTEGRIDAD
ASEGURANDO DECISIONES CORRECTAS

国境フェンス建設のための

無許可マングローブ伐採を取り上げた記事

西側はマサクレ川を挟みハイチと接している。ドミニカ共和国政府国防省(Ministerio de Defensa)は、ハイチからの不法移民の増加の対応のため、2021 年から、国境フェンスの設置を開始した。2023 年 2 月には、フェンス建設により、サラディージャ野生生物保護区内の約 6,000 m^2 のマングローブが無許可で伐採されたとの非難が上がり、同政府環境・天然資源省は、無許可伐採の証拠があるとして、作業停止を命じ、現在も作業は停止している。

生態系への圧力はペピージョサルセド市の内部からも発生している。ここの住民は、マンサニージョ湾や保護区であるサラディージャ湖内部やその付近で、生態系保全に対する配慮が十分とはいない形態で農業や畜産、畜産を行っている。前者についてはハイチの漁民がドミニカ共和国の海域まで深く入り込んで漁業をしているとの報告もある。

上記のとおり様々な開発圧力に晒され、それが故に利害関係者も多い中でサラディージャ湖の生態系を保全するには、これら関係者間の調整や意思統一の役割を担う機関が不可欠である。パイロット活動では、この機関として村落や村落間レベルの環境管理委員会の設置を進めていく。